

青少年関連団体（子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員協議会）の現状と課題について

1 子ども会育成会連絡協議会

目 的	入間市内の子ども会育成会相互の連絡及び親睦を図り、子ども会活動の健全なる育成を目的とする。		
会員数	28 年度	29 年度	30 年度
	1,686 人	1,593 人	1,484 人

○当市の現状

- ・11 地区の子ども会育成会連絡協議会を中心に、それぞれの子ども会がさまざまな活動をしている。
- ・子ども会の活動は、子ども達（主として小学生）にとって身近な地域社会における仲間集団の形成・活動の展開など社会生活の基本を学ぶ場所であり、地域社会や家庭での人間関係の希薄化している現代では、貴重な体験を与える場所となっている。
- ・一方、少子化の進展、子ども達の遊び・習い事の多様化などにより、団体数の減少・加入率の減少、また保護者が役員などを担うことにより、保護者の負担増から指導者や団体役員の担い手不足など、多くの課題を抱えている現状である。
- ・青少年活動センターでは、補助金交付による資金援助、研修や情報交換の場の提供などの支援をしている。
- ・近隣市では、指導者や役員の担い手不足により、会の運営を存続することが困難となり解散している例もある。

○課題

- ・効果的な支援策について
- ・社会教育団体等との連携について

2 青少年相談員協議会

目 的	地域社会において、友愛精神をもって青少年に接しその相談相手となり、助言指導を行い、かつ青少年の健全な育成を期する。		
会員数	28 年度	29 年度	30 年度
	21 人	22 人	23 人

○当市の現状

- ・青少年相談員協議会は、青少年の健全育成のための団体であり、青少年相談員は18歳～36歳（高校生を除く）の青年による、子どもたちに寄り添うよきお兄さん・お姉さんであり、よき理解者となり、子どもたちの健やかな成長をサポートするため

様々な活動をするボランティアである。

- ・当市においては、現在 23 人の相談員がおり、過去 3 年間相談員数に大きな変動はない。
- ・主な活動は、インリーダー養成講座、中高生キャンプ、小学校レクリエーション事業等となっている。その活動内容は年々形骸化しつつある。

○課題

- ・人員確保について
- ・活動内容の見直しについて